



森林の炭素固定・吸収量が 一目でわかります！

県内森林全体の炭素固定量

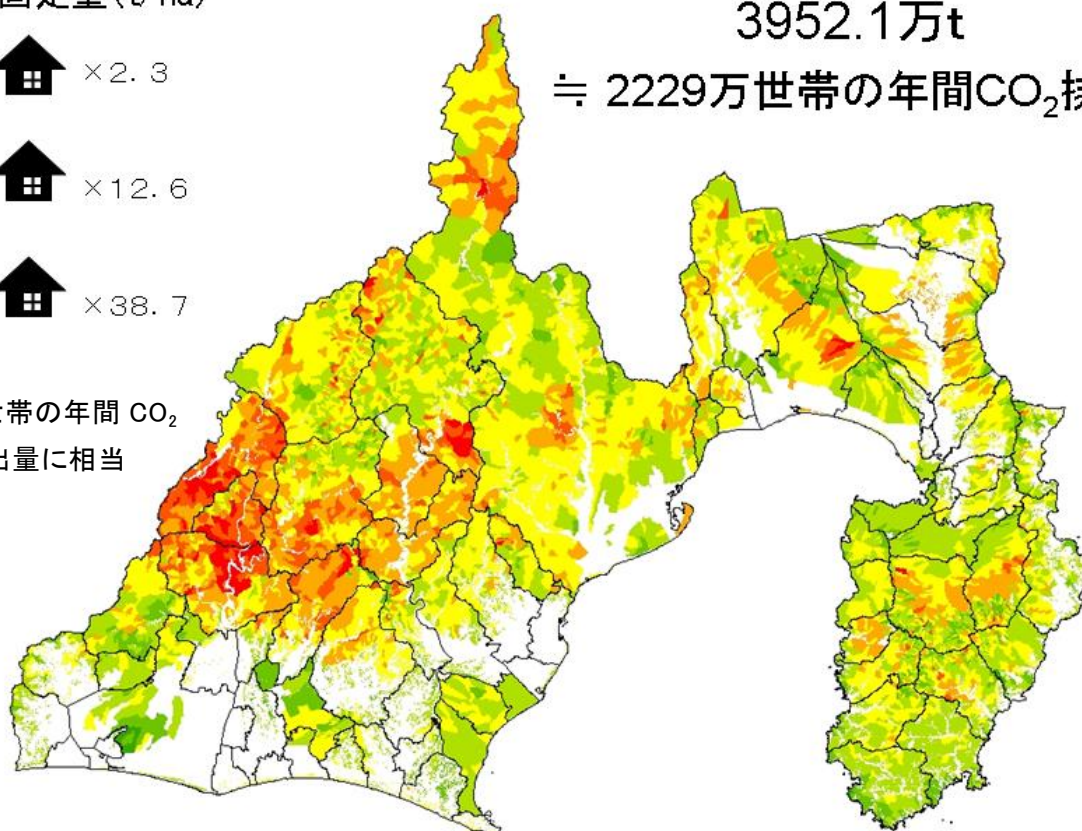
3952.1万t

≒ 2229万世帯の年間CO₂排出量

炭素固定量(t/ha)



🏠 : 1世帯の年間CO₂排出量に相当



炭素固定量マップ

※土壌を含まない樹木だけの固定量

地球温暖化問題に伴い、森林がCO₂を固定・吸収する能力に期待が寄せられています。しかし、県内の森林がどれ程CO₂を固定・吸収しているのかはよく分かっていませんでした。

森林・林業研究センターでは、森林簿の面積や材積データを元にして森林の炭素固定量・吸収量が分かるマップを作成しました。

裏面には、炭素吸収量マップと算出方法の紹介があります。



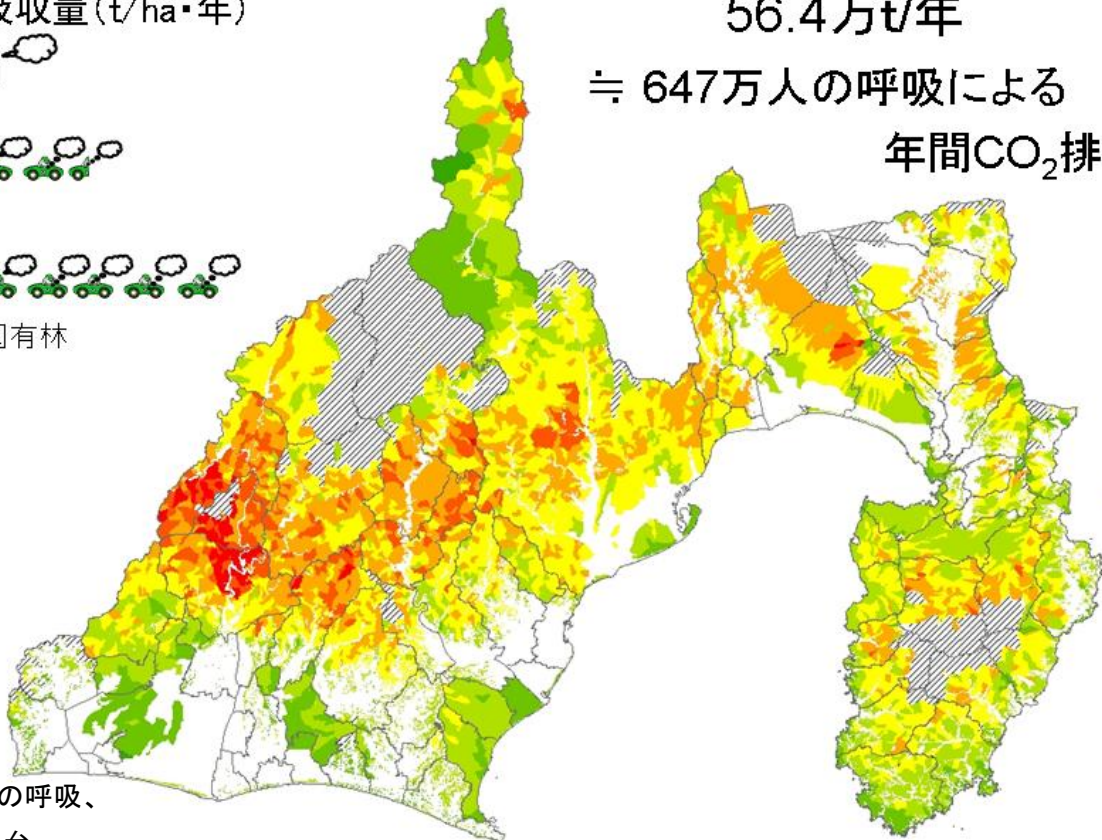
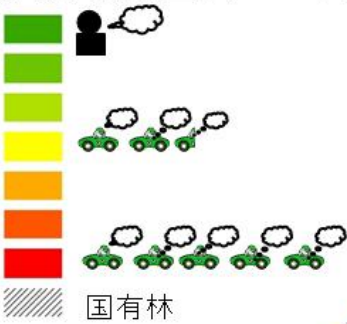
県内森林全体の炭素吸収量

56.4万t/年

≒ 647万人の呼吸による

年間CO₂排出量

炭素吸収量(t/ha・年)



: 1人の呼吸、

: 車1台

の年間CO₂排出量に相当

炭素吸収量マップ

あなたの山林の炭素固定・吸収量が推定できます

森林簿の材積・成長量と表の値を下の式に代入することで炭素量が計算できます

樹木の炭素量 = (幹 + 枝葉 + 根) × 重量 × 炭素含有率

= 材積 × バイオマス拡大係数 × (1 + 地下部・地上部比) × 容積密度 × 炭素含有率

	バイオマス拡大係数		地下部・地上部比	容積密度 (kg/m ³)	炭素含有率
	林齢 ≤ 20	林齢 ≥ 21			
スギ	1.57	1.23	0.25	314	0.5
ヒノキ	1.55	1.24	0.26	407	

A = バイオマス拡大係数 × (1 + 地下部・地上部比) × 容積密度 × 炭素含有率

とすると

樹木の炭素固定量 = 材積 × A

樹木の炭素吸収量 = 成長量 × A

炭素の固定・吸収は、成長が早く材積量も多い人工林地域（天竜地域など）で大きいことがわかりました。森林への炭素固定・吸収には人工林の整備・維持が大切です。



発行日：平成24年3月1日

編集：静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター

発行：静岡県森林・林業研究センター振興協議会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 (静岡県森林組合連合会内)

TEL (054) 253-0195 FAX (054) 253-2328